

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		国民年金事務費 [国民年金事業]					
予算科目	款 3	民生費	項 4	国民年金費	目 1	国民年金費	事業番号 2
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの					
担当部署・課長名		保険年金 課		高齢者医療年金 係		課長名 岩野 秀夫	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号		2 - 5
【施策名】 社会保障の充実					総合計画書(ページ)		63
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	国民年金被保険者			国民年金被保険者数			
	→						
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	国民年金制度の周知、啓発、相談等を行い、市民の年金受給権を確保することが、安心できる市民生活につながる。			被保険者一人あたりの届出件数及び相談件数			
	→						
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
	国民年金法に基づく、法定受託事務(資格取得・資格喪失・種別変更受付、法定免除・申請免除・納付猶予・学生納付特別の受付、継続免除・未納者対策等所得情報提供、国民年金裁定請求の受付、死亡一時金・未支給年金請求の受付)として年金事務所への進達。協力・連携事務(窓口・電話による年金相談、口座振替・前納の促進、市報・ホームページによる制度周知啓発、その他)。			年金事務所への進達件数及び国民年金協力連携事務件数			
	→						
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
対象指標	①の数値	人	17,195	16,989	16,757		
成果指標	②の数値	件	0.4	0.4	0.4		
目 標	②の目標値						
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 法定受託事務であり、目標値の設定はなじまない。							
活動指標	③の数値	件	8,275	6,061	5,703		
3 経費	事業費(実績)		円	7,121,074	10,562,865	11,172,912	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	7,121,074	10,562,865	11,172,912	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	16,620,000	16,760,000	16,500,000	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	23,741,074	27,322,865	27,672,912		
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く						
	国民年金と年金生活者支援給付金の両制度において、制度改正が頻繁に行われる。						
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く						
	関係機関と調整を図り、事務が円滑に執行できるよう努めていく。						